

# みなさまへのメッセージ

みなさまには、平素より私ども第一勧業銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。金融の自由化が進展し、銀行を取り巻く環境が大きく変化しているなかで、銀行の経営内容を知っていただくための情報開示(ディスクロージャー)の重要性がますます高まっています。当行ではみなさまに当行に対するご理解を一層深めていただきたく、本年もこの冊子を作成いたしました。当行の経営方針、財務状況、商品・サービスの内容などについてわかりやすくご説明するよう心掛けました。

さて、当行は、昨年央、過年度における不祥事にかかわり、元役員および現職の役職員が商法違反により起訴され、当行自体も銀行法違反により行政処分を受けました。また、公務員に対する過剰接待問題でも本年7月に行政処分を受けました。信用を基盤とし、健全性・公共性を第一に考えなくてはならない銀行にとりまして、誠に痛恨極まりない事態であり、株主のみなさま、預金者・お取引先のみなさまをはじめ、社会のみなさまに多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを、改めて心よりお詫び申し上げます。当行は、このような不祥事の再発防止に万全を期し、清冽で透明性の高い経営を長期間にわたって確保するために、経営組織の大幅な刷新と内部監査体制の充実を図りました。今後とも役職員一同コンプライアンス体制の向上とその定着に向けて不断の努力を続けてまいります。

ところで、金融界は、今年度まさに「日本版ビッグバン」の本格的な幕開けを迎えました。新外為法の施行や金融システム改革法の成立などにより、さまざまな規制が緩和・撤廃されるとともに、金融・証券市場の整備が図られようとしています。この大きな環境変化は、証券業務への参入自由化、銀行の投資信託業務への参入など、さまざまなビジネスチャンスが広がる一方、業態を超え、かつグローバルな優勝劣敗の競争が一段と激化していくと考えられます。

この「日本版ビッグバン」に備え、財務の健全性を早期に確保し、経営体質の強化を図るためには、不良債権問題の早期決着が最重要課題であるとの判断から、前期は従来以上に不良債権の積極的かつ厳格な処理を行いました。これにより、前期決算につきましては、誠に遺憾ではありますが、前々期同様損失を計上することとな



頭取 杉田力之

りました。今期につきましても不良債権発生 of 未然防止、回収に努め、資産構造の改善を図るとともに、役職員の処遇の見直し、人員・店舗などの削減を柱とする経営合理化策を実施し、これまで以上に経営の効率化を進めてまいります。

さらに、当行は「日本版ビッグバン」が金融機関の利用者にとって、ひいては国民経済にとって、実りあるものとなるよう、積極的にこれに取り組み、お客さまのニーズに迅速・的確にお応えして多様な金融商品や質の高いサービスの提供に努めてまいります。そのために、現行の第九次経営計画の計画期間を1年短縮し、来年4月より「新世紀の第1次経営計画」をスタートさせます。この新経営計画では、従来以上にお客さまのニーズを重視した取り組みを徹底させるという考えに基づき、現在の組織をマーケット別に分社化する「分社型経営」という経営手法を導入します。各分社は、各マーケットに最適な商品を、最適な体制で提供することをめざして、商品開発から販売まで自己完結する、いわば製販一体型組織とする方針です。具体的には、個人のお客さまの資産運用ニーズに対しては、投資信託業務をはじめとした資産運用業務、相談業務に、法人のお客さまの金融ニーズの高度化、多様化には、企業財務をリードする先端的な金融手法の開発・提供などに積極的に取り組んでまいります。

そして、こうした取り組みを通じ、21世紀に向けて「真にお客さまのお役に立つ銀行」として社会の信頼を得てまいりたいと考えております。

みなさまには、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

平成10年8月

頭取

杉田力之